

船舶事故等調査報告書

平成26年10月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|--|
| 事故等番号 | 2014横第70号 |
| 事故等種類 | 火災 |
| 発生日時 | 平成26年6月22日 05時30分ごろ |
| 発生場所 | 和歌山県勝浦港南東方沖 和歌山県串本町所在の樫野埼灯台から真方位066°8.4海里付近 (概位 北緯33°31.7′ 東経136°00.8′) |
| 事故等調査の経過 | 平成26年6月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | 貨物船 ^{プラチナム} PLATINUM（カンボジア王国籍）、1,774トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 8649184（IMO番号）、SHI YU SHIPPING CO., LIMITED |
| 乗組員等に関する情報 | 船長（中華人民共和国籍）、免状不詳 |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | 船倉内のスチールスクラップが焼損 |
| 事故等の経過 | <p>本船は、船長ほか10人（中華人民共和国籍）が乗り組み、愛知県豊橋港において、スチールスクラップ約1,300tを積載し、中華人民共和国海門に向けて勝浦港南東方沖を南西進中、平成26年6月22日05時30分ごろ、貨物倉内に火災が発生したことから、海上保安庁に救援を要請した。</p> <p>本船は、巡視船による伴走警戒により、和歌山県新宮市新宮港に向けて航行し、新宮港の港口付近に投錨を行い、巡視船及び本船乗組員が船体及び貨物倉上部への放水による冷却消火を続けた結果、白煙が止まり、貨物倉上部の温度も低下した状態となった。</p> <p>本船は、28日にカンボジア王国認定の船級協会検査員による船体及び推進装置等の検査が行われ、目的地までの航海に必要な堪航性を有していることを保証する調査報告書が発給され、船長が、目的地まで安全に航海できると判断し、また、航海中に定期巡検を実施して異常の有無及び航行位置について、海上保安庁に定時連絡を行う旨の声明書を提出し、29日目的地に向けて出航した。</p> |
| 気象・海象 | <p>気象：天気 雨、風向 北東、風力 6、視界 良好</p> <p>海象：波向 北東、波高 約1.0m</p> |
| その他の事項 | 本船は、火災発生時、右舷船体中央部から船橋にかけ、貨物倉の蓋の隙間から白煙が立ち上る状況であり、火災は確認されず、火災発生から鎮火が確認されて出航するまで、貨物倉の蓋が開放されることはなかった。 |

| | |
|--|--|
| <p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p> | <p>なし あり なし</p> <p>本船は、勝浦港南東方沖を南西進中、貨物倉に積載していたスチールスクラップが発火したことから、付近の可燃物に引火して火災が発生した可能性があると考えられるが、積荷の詳細な情報が得られなかったため、発火源を明らかにすることはできなかった。</p> |
| <p>原因</p> | <p>本事故は、本船が、勝浦港南東方沖を南西進中、貨物倉に積載していたスチールスクラップが発火したため、付近の可燃物に引火したことにより発生した可能性があると考えられる。</p> |